

まえがき



毎年2回にわたり、県政の主要施策と県財政の状況について公表し、県民の皆様のご理解を頂いておりますが、今回は令和2年度実質当初予算や4月補正予算、令和元年度下半期の財政状況についてご説明申し上げます。

本県の財政状況は、これまで職員数の削減をはじめとする行財政改革に取り組んできた結果、平成24年度から基金の取り崩しに頼らない財政運営を行っており、8年連続で収支均衡を達成することができました。

しかしながら、今後、社会保障関係経費の増加に加え、北陸新幹線敦賀延伸に係る建設費等が大きな歳出圧力になると見込まれることから、引き続き、中長期的な展望に立った持続可能な財政基盤の確立に向けて、令和2年3月に改定した行政経営プログラム2020に基づき、歳入歳出全般にわたる各種の改革を間断なく進めてまいります。

こうした状況の中、令和2年度実質当初予算では、新幹線開業効果のさらなる持続・拡大、本県のさらなる発展に向けた「石川の強み」の磨き上げ、そして、県民生活の安全・安心のさらなる確保に重点を置いて編成したところであります。

一方、本県における新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、昨年度の3月補正予算以降、累次の補正予算を編成しており、特に4月補正予算では、医療提供体制の更なる確保、休業要請の実施を踏まえた協力金、中小企業の事業継続や雇用維持の強化といった、緊急性が高く、6月議会を待つことができない対策を中心に編成いたしました。

こうした中、本県は国の緊急事態宣言の対象地域から解除され、今後、新型コロナウイルスと共生しながら、痛みが激しい社会経済の正常化に取り組むという、「感染症対策」と「社会経済活動」の両立が求められる、極めて難しい局面を迎えております。今後とも時機を逸することなく必要な手立てを講じ、県民の皆さんの不安解消に全庁挙げて取り組んでまいります。

皆様の忌憚のないご意見と一層のご協力をお願い申し上げます。

令和2年6月1日

石川県知事 谷本正憲

もくじ

第1 令和2年度実質当初予算及び4月補正予算の概要	2
Ⅰ 実質当初予算編成の基本方針.....	2
Ⅱ 実質当初予算の主な施策.....	3
Ⅲ 実質当初予算の状況.....	6
Ⅳ 一般会計歳入予算.....	8
Ⅴ 一般会計歳出予算.....	10
Ⅵ 4月補正予算の概要.....	13
第2 石川県の財政状況	14
Ⅰ 石川県の財政状況.....	14
Ⅱ 今後の財政見通し.....	22
第3 令和元年度下半期の補正予算と決算見込みの概要	24
Ⅰ 令和元年度下半期の一般会計予算の補正状況と主な内容.....	24
Ⅱ 令和元年度予算の繰越.....	28
Ⅲ 令和元年度の一般会計決算見込み.....	29
第4 令和2年度当初予算を家計簿に例えると	30
資料編	33